

第9回おのみち100km徒歩の旅

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>過のバランス…。主人と私が子どもに関わる、手助けをする、口を出すバランス…。バランス難しいですね。</p>
<p>このセミナーでいつも「親が変わらなければ…」と毎回思います。 子どもに対する接し方を改めたいと思います。</p>
<p>日々、何気に過ぎていますが、親子の距離感を考える時間を与えて頂いてとても勉強になります。 普段否定的（叱ったり）な子育てになってしまっていたことを反省してます。</p>
<p>我が子の自立は親の修行。親離れは子離れ。見守ることの忍耐強さ。今後の子育てに役立てたいと 改めて感じました。</p>
<p>子育ては親の大事業であると思いました。子どもは社会が育てるのだと思いました。</p>
<p>親も勉強になりました。自分の子育て、今までを振り返って反省することが多々あります。</p>
<p>「見守る」という事の難しさを、今回も見させて頂きました。私自身もいけないと思いながらも先 回りして声掛けをしてしまう事があるので反省しています。</p>
<p>先回りしてしまわないよう、日頃から子どもに対して気を付けて言葉をのみ込んでいるつもりで も、上映された両親のように強くなるにはかなりの忍耐だなと感じました。親がストレスを持って いると子どもにも伝わりやすいので、お互いできるだけ大らかに接していますが…</p>
<p>つつい何にでも手助けをしてしまう私ですが、関わること、自分でさせることの区別がとても大 切だと感じました。</p>
<p>前回は受けていますが、改めて自分の子育ての甘さが振り返れたと思います。グループワークは恥 ずかしいですが、話し合って学ぶことも多かったです。ビデオの中の祖母の「親が心配するのが辛 いから子どもを助けるのは本当の子育てでは無い」と言うのを聞き、反省しました。（自分の為に 手を出してたんだと…反省。）</p>
<p>日頃、自分の子育てについてなかなか考えることや時間はあまりありませんが、映画を観ながら考 えることが出来て、振り返り、反省の時間を持つことが出来ました。日常の生活に流されてしまわ ないように1人1人の人格を大切に子育てをしていきたいです。</p>
<p>見守る事、子離れの大切さを改めて感じました。まずは、100km徒歩の旅の持ち物準備から、 出来ることは全て子どもにさせようと思います。</p>
<p>初めてですが自分自身の子どもに対する気持ちを新しくリセットするため、毎年このセミナーに参 加したいと思いました。映画も子どもに見せたいです。下の子の世話のために主人は参加できな かったので残念です。子どもとの距離、過ぎ過ぎる思いなど考えさせられることばかりでした。</p>
<p>てんびんの詩は4回目でしたが、何度見ても話は分かっているのに感動します。相手の立場になっ て考えることが大事なのは商売だけでなく人間関係の中でも同じようなのではないのでしょうか。あ りがとうございました。</p>
<p>日頃の子育てで私にかけているなと反省している部分を、改めて再認識する事ができました。今日 から、子どもとの関わり、自分の行動を見つめ直し子育てをしていきたいと思います。</p>
<p>親もまだまだ学ぶことが多いことを知る機会になりました。</p>

第9回おのみち100km徒歩の旅

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4

(セミナーを受講されて、
何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

親離れをさせるためには、まず子離れをしなければという言葉にグッと我に返りました。なかなか自分は出来ていると思っていても、すんなり出来ないもので、このおの100を期に子どもの成長を楽しみに待ちつつ、自分のこれからの子離れをこの5日間で考えて行きたいと思いました。

今年で3回目なのですが、毎回色々と考えさせられ勉強になります。ビデオも同じなのですが、昨年より違った考えが生まれ、年々親として成長しなくては！！と、つくづく思いました。

普段、助けてしまいがちですが、時には厳しく突き放すことも大切だと思いました。助けないことによって成長して欲しいと思います。子どもを信じて待つという信頼関係でお互い成長できると思います。お金を稼ぐ大変さを学んで欲しい。実際に経験させる時に信頼関係が成り立っていないと子どもが安心して戻ってこれない。

久しぶりの参加。ビデオも数回見たので、まさかとは思いましたが涙が出てしまいました。若いころに見た内容と同じなのですが、親が年をとったのか、親になってきたのか、ビデオの中の母親や周りの人々の様子が良く見えてきた様に思います。

毎年この時期に「私が変わらなければ！！」という思いを思い起こさせてくれます。(なかなか変われませんが…)
父親が昨年統合し立派な建物の中学校のPTA役員をしていますが、家に帰って「いくら建物が立派でも、親が変わらんけ～変わらんわ～」とどこかで聞いたセリフを言っていました。親と共に、建物に負けない中学校にしたいなと思います。

リピーターの参加者が多いなあと思った。2度目のビデオ観賞でしたが、話の筋が分かっても感動しますね。売れた時の人情だとか、触れ合いだとか、子どもが成長していく姿をいろんな人が見守っていく姿とか考えさせられるものがあります。

親も一緒に成長することが大切だと思いました。子どもを見守りながら親離れの修業を積みたいと思います。

昨年も参加し、その時と同じ気持ちになりました。子どもの気持ち、意欲を大切に、失敗することも大切なんだということを子どもにも分かってもらえるように、一步離れて見守りたいと思います。

親がもっと強くしっかりとした気持ちで子どもを見守らないといけないと、このセミナーを受講して毎回思います。少しずつですが、子離れ出来ていると思いますが、まだまだ十分ではありません。子どもが一人前の大人になるために、親も努力し、子どもと一緒に成長していきたいと思っています。

上映ビデオに感動し、考えさせられました。子どもとの距離をどう取ったら良いのか難しいと思います。

今回で8回目の参加となります。ふと気付くと1年に1度の自己の反省の場になっているように思う。今回、特に感じたことは、地域の人たちの役割。色々な役をしていることもあり、地域の人たちが協力し合い子育てをしていくことの大切さを再認識した。5つの過のバランスの難しさ…。個々の特徴(長所)をいかに伸ばしてあげることが出来るかが今年の課題です。

私自身、5つの過そのものだと思います。先回り、教えよりもそこがそうだからとかばかりだった気がします。確かに、姉妹ゲンカも自分自身の言い方、もっとのびのび1人1人の芽を摘まないように自分自身(親の子離れ)のように思いました。

ビデオを見て…時代が違うというのがありますが、私は子どもに行商に出すような事は絶対に無いと思います。甘い親だと思う。子離れを頑張ります。

第9回おのみち100km徒歩の旅

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>子どもとの距離感、見守ることの大切さ、難しさを再認識しました。子どもの生きる力を信じ、口出しをせず、色々なことを体験させてやりたいと思いました。</p>
<p>親としては「子どもの成長」ということがセットになっていますが、現実「親の成長」も必要だと思っています。おの100に参加させてもらうことにより、今年、私自身も少し成長できたら…と思っています。</p>
<p>単なる100kmを歩くイベントではないことを強く感じました。恵まれ過ぎている現代に、このような経験をさせて頂けることに感謝します。本来は親が考えなければいけないところを、このように若いこれからの担う人たちのことを真剣に考えて下さっていることありがたく思います。</p>
<p>今までは多少ゆるく甘やかしていましたが、上の子が初めておの100に参加してから親としての考え方や、子どもに対しての接し方、何より自分に対しての振り返りを心掛けています。まだまだ課題は多いですが、年に1回のセミナーで新たに「よし！私も頑張るぞ」としています。</p>
<p>他のお母さんとグループで話し合うことが出来て良かったです。3年間続けて見ましたが、1年の間に忘れていたので今回見ても新鮮な気持ちで見ることが出来ました。</p>
<p>今までの子どもの接し方について、改めなければならない点を多く確認できた。</p>
<p>今まで過保護、過干渉、過許可だったなと思った。見守ると言うことは大変難しいことだと思うが、今からは少しずつ実行していきたい。</p>
<p>親の気持ちは皆一緒だけど、それがどういう行動に出るかが親々で違う、その行動によって、子どもを良くも悪くもするという意見を聞いてとても考えさせられました。親がしっかり見守って待つ、耐える大切さを養いたいと思います。</p>
<p>反省することばかりでした。「親の心子知らず」ですが、親が変わらなければいけないと思いました。5日間子離れを頑張りたいと思います。そして、夏休みの間「5つの過」に気をつけて過ごせたらと思います。</p>
<p>親自身が色々経験しておくべきだと思った。やってみて初めて子どもを含む、他の人もやり遂げることが出来ると分かったと思った。改めて、自分の商売を見つめ直そうと思った。</p>
<p>この事業の成功を祈念します。</p>
<p>子育てについてなかなか他の保護者の方と話すことがなかったので、いろいろな意見が聞けて大変良かったです。 5つの過は、自分に当てはまる事がたくさんあり、参考にしたいと思いました。</p>
<p>日頃の生活で子どもを甘やかしているかなと感じた。親の子離れが必要だと思いました。</p>
<p>「見守る」ということはとても難しく、放任にならないように子どもとのいい関係を作って行きたいです。頑張ります！</p>
<p>親離れでなく子離れすることの難しさですが、まだ少し感じがわからなく、このおの100で感じることができそうです。つつい子どもが困らないよう口出しすることを、口にする前に考えてみたいと思います。今日、思っても何日かするとすぐ忘れてしまうので、少しずつ頑張りたいと思います。</p>
<p>子離れ、親離れについて皆さんの言葉で色々な意見を聞けてとても良かったです。皆さんも私と同じような気持ちと分かり安心しました。子どもを信じたいと思います。</p>

第9回おのみち100km徒歩の旅

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

これまで親のあり方についてこのように考える機会は少なかったと思います。親として精一杯、子どものことを考えて手を掛けていたつもりでしたが、「掛ける手間」を間違っていたのか、また、本当に必要な手を掛けていなかったことに気がきました。親としての在り方、今後の立ち位置を考えられる良い機会になりました。主人も一緒にセミナーに参加できれば共に考え、振り返れることが出来たと思っています。

5つの過について、頭では理解しているつもりですが常に出てしまい一人目を育ててしまいました。二人目には、その日、その時の気分で5つの過を出してしまい、子どもが何を基本とすれば良いのか分からなかったと思います。三人目は、私も少しずつ五つの過を出さずに育てていけていると思います。五つの過に振りまわされる親と子どもです。

4回目のセミナーですが、毎回「素晴らしい、自分も今日から子どものために…」と思って帰ります。なかなか難しいことなんで、未だに過保護な親から抜け出せないのですが。

「我が子を信じ、見守ること」が大切だと思いました。つつい口を出してしまい、反省することばかりです。毎年、この時期になると反省して「一から頑張ろう！」と思います。

親も意識を変えて、接する時に将来を思って考えないといけないなと思いました。ビデオ上映後の班でのお話で、親の気持ちを話すことやお話を伺ってとても勉強になりました。(共感したり、気持ちに寄り添ったりetc...)最終的にはお互いが思い合ってお互いのことを考えることが、親子それぞれ自立できるのだと思いました。(その具体的なことを、今日はたくさん教わりました。)

改めて、親と子の関係を考えさせられる様な気持ちになりました。普段の生活でちょっとした事でも感謝の気持ちは幸せだなと…。また、これからの子どもの成長を見守るという事の大切さ。簡単なようで、簡単でない。子どもと一緒にこれからも頑張ろう!と思える気持ちになりました。

昨年、セミナーを受講し感じたことを改めて感じる事が出来ました。親は子どもを見守っていかなくてはならない。子どもとの距離感を保って子育てしていくなど、これからの生活に心掛けながら子育てしていこうと思いました。

ビデオを見て、私だったら大作の母親みたいに何も言わずに最後まで見守っていることが出来るのだろうか?と思いました。子どもがおの100に行っている間に家族で色々話しあってみようと思います。

3度目の参加になります。子離れの大切さを毎回実感しています。少しずつは出来ているのかなと思います。まだまだです。親としていろんな事を改めて考える時間をいただいています。

今回で2回目です。前回の時も感じたのですが、日々、一生懸命子育てをしているつもりですが、その一生懸命さが子どもの自立を阻んでいるように思いました。子育てする中で一番大切なもののヒントを教えてくださいました。

親子の信頼関係って、とても難しいけど、とても大切なものであると感じました。厳しい言葉ばかりでもダメだし、甘い言葉だけでもダメだと思います。親離れ、子離れの第一歩が「おの100」であれば良いなあと思います。

参加する保護者の方と気楽に話ができて良かったです。

親と子どもの距離感の難しさを改めて考えさせられました。「5つの過」のいくつかは自分に当てはまっていると感じました。今からでも遅く無いという言葉の励みに、自分自身、親として少しでも変わって行こうと思いました。

第9回おのみち100km徒歩の旅

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>毎年(今年4年目)見て、毎年自分が5つの過(やってはいけない)をしていることに反省しています。子どもの為に親も成長したいと思いました。</p>
<p>改めて子育ての難しさを実感した。</p>
<p>ビデオ2回目でしたが、感動再び。何度見ても涙です。親の心構えも新たにしなければ!!と強く思いました。</p>
<p>他の方の話を聞いて、この研修会に参加されている父親母親の方は上手く子育てされてそうなので安心です。</p>
<p>2回目の参加で1回目よりビデオの中身をじっくり観られました。子どもの変化を感じながら、最後に鍋蓋を売ることが出来た時、周りの人のかかわりの中にたっぷりの愛情をかけている姿がすごく伝わって来ました。</p>
<p>子の成長に合わせて親の成長も必要。人に関わる事を学ぶには言葉ではなく経験によるところが多い。人に影響を及ぼすには自らの努力が必要。</p>
<p>自分が今まで行っていた過干渉の面を改めて実感し反省しています。もっと子どもとの距離の取り方を大事にして接していけたらと思います。</p>
<p>私はどちらかと言うと過期待が多くて、期待に沿わないとついつい怒ってしまうので、もう少し子どもを信じて見守ってみようと思いました。</p>
<p>3回目のセミナーですが、毎回違った心境になります。「子どもを信じて待つ」このことの大切さ、難しさは毎回実感しますが、2年前と今を比べると子ども自身は成長を含めて著しく変化しているの、それに応じた適切な対応をしたいと思いますが、それがとても難しいです。一般的に言って、親が子どもを思う愛情は誰にでも同じようにあるものだと思います。その愛情の方向が正しければ、子どもはこのDVDのように著しい成長をする手助けになると思うが、方向が間違っていれば、子どもをダメにすることがあるということが怖いです。</p>
<p>セミナーを終わって、改めて子どもとの接し方を考えました。帰ってから、今日感じたことを子育てに活かしていきたいと思います。</p>
<p>父親としての立ち位置の重要性を再確認、気付くキッカケとなりました。見てみたいビデオだったので感動しました。(営業の研修にも使われる様です。)</p>
<p>子どもを見守る事の大切さ、距離感が必要であるという事が勉強になりました。過保護、過干渉、過期待、過放任。育児をしていてマニュアルのない生活でずいぶん過の部分もあると思いました。反省して過放任になりすぎないように見守ることができたらいいなと思います。</p>
<p>映画を見ていて、大作に対して甘えた考えを諭す場面が多数ありました。古き良き時代と言ってしまうかもしれませんが、現在の社会で人の道や考え方から外れている子どもに対してしっかり叱る事が出来る大人はどれだけいるのであろうかと思うと少し淋しくなります。(自分の叱れない大人だと思うからです)</p>
<p>3度目の受講ですが、毎年感じ方は異なる気がします。1年目は本当に全てが不安(親も子も)でしたが、少しずつですが子どもの力を信じて、親離れ、子離れもできてきたのではないかと思います。</p>

第9回おのみち100km徒歩の旅

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

だいちゃんと我が子の姿が重なってしまい、見るのが正直辛かったです。この子がおの100に参加して何を感じ、どう成長できるかは正直分かりません。ただ、私たち親としては、「今、何を感じているのか、どう思っているのか」常に考え、見守りたいと思います。一緒に歩けませんが、一緒にあるいているつもりで参加させたいと思います。

「5つの過」について、昨年も聞きながら耳が痛かったのに、今年も同じく耳が痛かったです。なかなか成長しない自分を感じました。

いろいろな体験をすることで、いろんなことを感じる事ができ、成長していくんだと思ったので、これからは子どもにいろんな体験をさせたいと思いました。

改めて自分を振り返ってみて反省(後悔)したり…。決して、他人は変えることは出来ない。人のせいにするのは楽だけど、全て自分に返ってくる。ならば、私が変わらなきゃと強く思えました。子どもを愛しく思えました。

「過」を少しずつでも減らして行けるように子どもと距離を置き、子離れをして行きたいと思います。日常生活で親として自分が変わらなければいけない点がたくさんある事に気付きました。

助けてばかりでは、成長させられない。厳しく突き放すことも大切。見守りと突き放し。送り出して見守って待つ。信じて待つ。信頼関係。親離れより子離れの大切さ。自分で立って歩くことの難しさ。大変な思いをあえてさせて、稼ぐことの大切さを分かってもらう。悪徳商法、お客さんとの信頼関係がなかったら売れないという事を教えたかったんだろうと思う。自分で経験したことで、気付く。教えてもらうのではなく、心や体で感じる事。子どもの生きる力を付けさせたい。

3回目のセミナー。いつも反省させられています。分かっているもついつい口を出してしまう。手を出してしまう。子どものする道をさえぎっている様に思います。もっと自分も大きくなり、大きく見守りたいです。

「過」の加減がとても難しい。子離れ出来ていないのかも!?と不安になった。

見守る母、失敗をさせてあげられる母になりたい。見守り、やり遂げた我が子を抱きしめてあげられる母になりたい。自分が変わると子どもも変わる。自分の出来ていないことを見直して、その姿を子どもに見せていきたいです。

親になって12年。色々と考え悩み、心配し、親になっていくんだと改めて思いました。自分自身の子育て方。そんなに道から外れていないようで、これからも頑張っていて楽しんで行こうと思います。

親離れ子離れについて、改めて考えさせられました。もっと子どもの力を信じて口出しを減らして見守っていけるように自分自身の態度を変えていかなければならないと思いました。子どもが勢いよく飛び出せるように、どっしりとした弓(土台)になりたいです。

今回2回目ですが、毎回、日頃の子どもとの関わり方について反省しています。少しずつ子離れが出来るように子どもを信頼して努力したいと思います。見守る(忍耐)力をつけたいと思います。

他の親の方と6人でグループでその意見交換がとても参考になりました。グループ内にリピーターの方が2人いらっしゃいましたがアドバイスを頂いたり、自分の子どもさんの体験談を聞かせて頂いたり短い時間でしたが、参考にさせてもらうことが色々ありました。

親離れは自然に出来ていますが、子離れは難しいと思います。